

新薬創出を加速する症例データ ベースの構築・拡充/創薬ターゲットの 推定アルゴリズムの開発

令和3年度成果報告会

参加費:無料 申込者限定 オンライン開催

令和4年5月12日(木) 10:30~17:30 (予定)

本事業の目的は、医薬品開発における最大の隘路となっている「創薬標的の枯渇」の解消に向け、ハイオインフォマティクスや人工知能等の最先端情報科学技術を駆使し、研究者の目利きと動物実験に頼ってきた従来の標的探索とは全く異なる革新的な研究手法を開発することです。

令和3年度までに、TCGAを超える世界最大規模の肺がん（約1,600症例）及び世界で唯一の特発性肺線維症（IPF：約1,300症例）の診療情報が紐づいたオミックスデータを収集し、これを用いて創薬標的の特定が困難なためこれまで創薬が進まなかったIPF及びドライバージーンが判明していないパネガティブ肺がんにおいて、創薬標的として有力な分子を見出しています。

本報告会では、肺がんとIPFにおける研究の全体概要及び創薬標的を探索するために開発した個々の研究成果について研究者より詳しくご報告を致しますので、奮ってご参加ください。

発表内容 (発表順未定)

事業目標と成果	神戸大学 特命教授/プログラムディレクター 樽林陽一
全体概要・特発性肺線維症	
「診察情報とオミックスデータを用いたデータ駆動的な患者層別化と創薬標的探索」	医薬基盤・健康・栄養研究所 夏目やよい
全体概要・肺がん	
「PRISM・肺がんプロジェクトの進捗及び今後の戦略」	国立がん研究センター研究所 浜本隆二
「体内精密情報デジタルツイン」	Karydo TherapeutiX 株式会社 佐藤匠徳
「医療テキストからの自動知識抽出技術の改良」	京都大学 黒橋禎夫
「科学技術文献からの疾患ネットワークの自動構築とそれを用いた推論技術の開発」	産業技術総合研究所 高村大也
「創薬ターゲット推定とメカニズム解明のためのAI技術の開発」	京都大学 奥野恭史
「医薬ビッグデータと機械学習による創薬標的探索」	九州工業大学 山西芳裕
「血中エクソソームの由来臓器を糖鎖解析により推定する基盤技術の開発」	北海道大学 西村紳一郎
「間質性肺炎（特発性肺線維症を含む）症例データベースの構築に向けて」	神奈川県立循環器呼吸器病センター 小倉高志
「大阪大学コホートデータを用いる患者層別化AIと創薬標的探索」	大阪大学 熊ノ郷淳
「間質性肺炎合併肺がん間質細胞のシングルセル・マルチオミックス解析」	徳島大学 西岡安彦

[主催] 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

[後援] 内閣府(予定) 文部科学省 厚生労働省(予定) 国立研究開発法人 科学技術振興機構(予定)

申し込み方法

専用申し込みフォーム
からお申込みください

お問い合わせ

PRISM 成果報告会運営事務局
jimukyoku@nibiohn.go.jp